

The Test & Impression

チョイ古ドカに T-REVは効くのか!?

中古で手に入れた'94年式の900SL。まだまだ現役とは言いつつも年式相応のヤレは隠せなくなってきた。そこでエンジンに活力を取り戻すべく話題のT-REVを装着! 果たして、その効果は……?

PHOTO/T.HIROSE,J.ARATA,T.WAKITA TEXT/T.ITAM
取材協力/寺本自動車商会 TEL072-875-8088 <http://www.teramoto.biz/>

気になる
パーツは
試してみたい



カメラマン・ヒロセ

弊誌ドゥカティ・マガジンをはじめ、ライダーズクラブ等でも活躍するカメラマン。2009年にはそれまでの愛車モンスタ-400でドゥカティ・カップにも挑戦するなど、根っからのイタリアン好き。900SLは昨年の春に勢い余って購入



フルカウル採用の空冷ライトウエイトスポーツとして根強い人気を誇る900SL。ドゥカティのかつての主力モデルだ

Teramoto Racing Eco Valve T-REV

全日本や世界耐久レースで活躍するプロライダー、寺本幸司さんが開発した減圧バルブシステム。クランクケース内の圧力を最適化し、自然なエンジンブレーキを実現する他、アクセル開閉時のギクシャク感を軽減。高回転域の伸びも向上するなど、その効果が体感できるパーツとして人気上昇中
価格: 3万6750円



効果が分かるパーツを付ける
とバイクに対する愛着も増す!

マルケージニのホイールにテルミニョーニのスリップオン、オーリンズのリヤサスペンション……とツボを抑えたカスタムが施された900SLが我が家に来てから1年半。前オーナーの愛情がたっぷり注がれていたこともあり、特に不具合もなく、チョイ旧ドゥカティ生活を満喫してきた。とはいえ、すでに17年落ちで走行距離は4万キロ超え。年式相応のガタも見られ、シリンドラ付近にはオイルにじみも見られるようになってきた。オーバーホールも考えたが、経済的にちよつと厳しく、なにかいい方法はないか探していたところ、このT-REV

E Vを薦められたというわけだ。クランクケース内の圧力を最適にするというこのバルブ。ピストンやピストンリングが摩耗して、燃焼ガスがケースに吹き抜けている(=圧力が保てていない)ことも予想される900SLにとって、救いのパーツになるのでは! そんな期待を込めて、さっそく装着してみたのである。

正直、違いが分かるかどうかは不安だったが、爆発時のカドが取れた感じで、明らかにエンジンの印象がマイルドになった。また、エンジンブレーキも安定し、アクセルをオフにした時も車体の挙動に落ち着きが出るなど、予想外の効果も体感できた。

最近、エンジンの劣化を感じているライダーには是非おススメしたい!



走行距離は4万キロを超え、シリンドラなどエンジン各部からはオイルにじみも見られる。T-REVの装着で復調するか?



装着後の効果は明らかで、エンジンの回転フィーリングにまるやかさが加わった。街乗りはもちろん、サーキットでも有効でレスポンスがスムーズになった